平成26年度 収支決算まとまる

収入が減少する一方で、支出(保険給付費と納付金)が増加し、赤字決算に

平成26年度の事業報告および収入支出決算報告が、7月9日に開催された第61回決算組合会において承認されました。

平成20年度に高齢者医療制度が施行されて以来、全国の健保組合は財政の悪化に苦しんでいます。平成27年度予算では、全組合のおよそ7割が赤字となっています（平成27年度健保組合予算早期集計結果の概要より：健康保険組合連合会発表資料）。

去る5月27日には、医療保険制度改革関連法が成立しました。残念ながら、かねてより健保組合が求めてきた医療保険制度全体の持続可能性を確保する内容とはいえないものです。

健保組合では、今後も、医療費適正化対策の推進、高齢者医療制度の負担構造改革の実現を強く求めてまいります。

健康保険

当健保組合の平成26年度決算状況につきましては、経常収支で赤字となりました。

収入面では、健康保険収入は前年度より54万6千円少ない2億1476万円でした。準備金の一部を別途積立金に移管し、支出に対して不足する収入額を補うために1億7192万7千円を繰り入れました。

一方、支出面については、皆さんの医療費や一時金などに充てられる保険給付費は、前年度より318万5千円多い1億1761万6千円でした。

また、高齢者医療制度を支える財源として負担している納付金は、前年度より2287万2千円多い1億3328万9千円でした。

保健事業費には1419万6千円を執行して、特定健診・特定保健指導などを実施しました。

以上のように、収入が減少する一方で保険給付費と納付金が増加したことで、平成26年度決算も赤字となりました。

介護保険

介護勘定の収入支出決算は、収入2113万4千円、支出1899万8千円、差引額は213万6千円でした。

平成26年度 収入支出の決算概要

一般勘定

●収入

科　目	決算額
健康保険収入	2億1,476万円
調整保険料収入	386万4千円
繰越金	691万6千円
繰入金	1億7,192万7千円
国庫補助金収入	20万9千円
財政調整事業交付金	755万5千円
雑収入	653万9千円
合　計	4億1,177万円

●支出

科　目	決算額
事務費	3,395万円
保険給付費	1億1,761万6千円
┌ 法定給付費	1億1,749万8千円
└ 付加給付費	11万8千円
納付金	1億328万9千円
┌ 前期高齢者納付金	3,899万3千円
├ 後期高齢者支援金	5,404万8千円
├ 退職者給付拠出金	1,024万6千円
└ 老人保健拠出金	2千円
保健事業費	1,419万6千円
財政調整事業拠出金	385万8千円
連合会費	47万3千円
積立金	160万円
その他	19万2千円
合　計	2億7,517万4千円

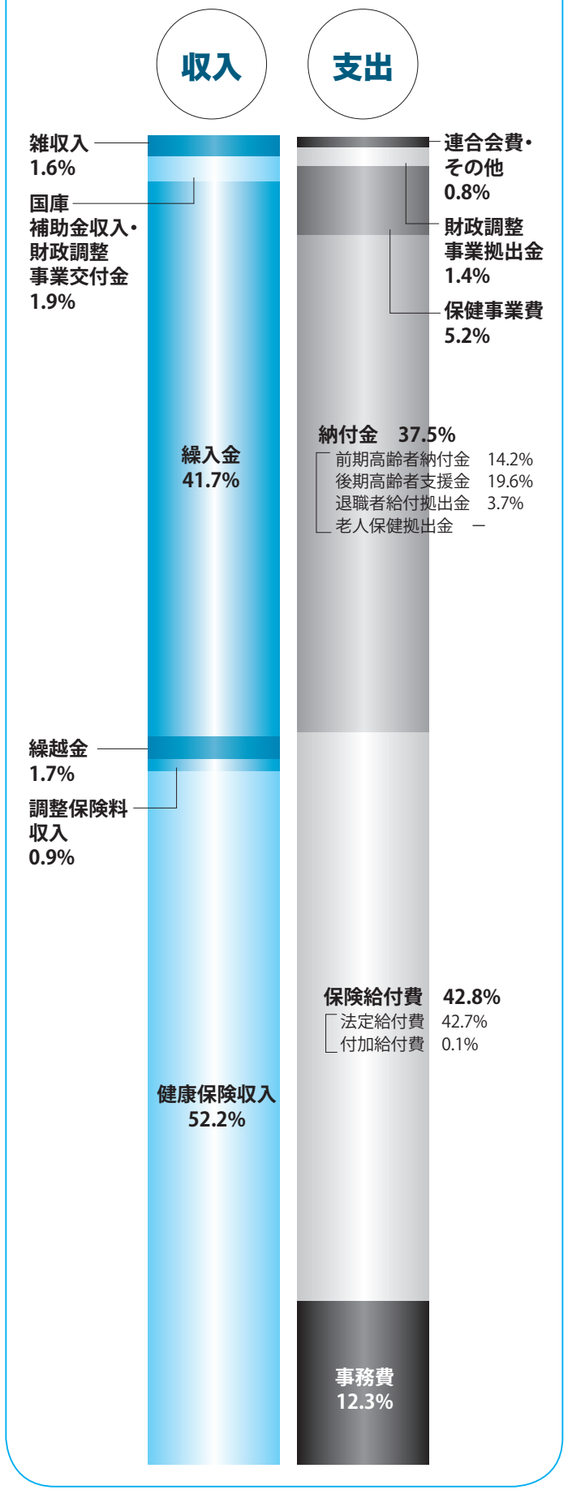
健康的な生活習慣は、病気のリスクを低下させます。
ご家族で、職場の仲間と健康づくりをはじめませんか。

介護勘定

●収入

科　目	決算額
介護保険収入	2,112万6千円
雑収入	8千円
合　計	2,113万4千円

●支出

科　目	決算額
介護納付金	1,899万8千円
合　計	1,899万8千円

平成26年度決算 収支の割合